

吉備国際大学研究会 「災害・熱帯感染症国際セミナー」

日・時

令和元年

8月26日

13:00～17:00

場所

高梁市図書館4階 多目的室
(JR 備中高梁駅に隣接)
<https://takahashi.city-library.jp/library/ja>
車で来場の方は図書館駐車場をご利用ください

参加対象

医療機関関係者及び感染症に興味をお持ちの方など

**入場
無料**

(予約不要)

趣旨

災害による感染症は自然に暴露されることにより生じます。熱帯地方で流行している感染症はベクターによる感染症が多く、温暖化の現在対策を学ぶ必要があります。またアジアのエイズ・結核は災害そのものになりつつあります。私達は世界の各国へ気軽にでかけることができます。また様々な国からの旅行者・留学生などを迎えています。このような時代だからこそ災害・熱帯感染症を学ぶことが必要です。ここに皆様と共に学び、大学でおこなっている研究を紹介する研究会を開催します。



2019年度 国立研究開発法人日本医療研究開発機構新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 支援課題

プログラム

開会挨拶 眞山 滋志 吉備国際大学 学長

1 「災害化しつつあるアジアのエイズ・結核」

服部 俊夫 白 高娃 元田 弘敏 吉備国際大学
松葉 隆司 鳥取大学医学部 准教授

「世界のマラリア対策に向けた課題」

国立国際医療研究センター 熱帯医学・マラリア研究部長

2 「ウイルスから見た HIV/AIDS」

前田 洋助 熊本大学医学部 准教授

3 「感染症診断における遺伝子診断の役割」

春山 貴弘 (株) AVSS

4 「フィリピンの結核の現況」

Dr. Marietta Solante
フィリピン肺センター MDR 専門医

5 「感染症の新規重症度マーカーとしての Galectin-9 とその分解産物」

仁木 敏朗 香川大学医学部 助教

6 「 Dengue患者の透過性亢進試験管内モデル」

Dr. Maria Terrese A. Dimamay,
Ms. Lady-Anne S. Pangilinan,
Ms. Michelle R. Sta. Maria
フィリピン聖路加医療センター

7 「モルジブでのチングニヤのアウトブレイク」

Dr. Hisham Ahmed Imad
タイ マヒドール大学 研究員

8 「フィリピンの災害・熱帯感染症」

Dr. Rontgene Solante
サンラザロ病院 成人・熱帯感染症診療部長

質疑応答

閉会挨拶 河村 顕治 吉備国際大学 副学長(研究担当)
総司会 橋本 由紀子 吉備国際大学 教授

主催：  吉備国際大学

後援：  独立行政法人日本学術振興会 / 一般社団法人高梁医師会 / 高梁市

◆ 問い合わせ先 ◆

受付時間 (月～木) 9:00～16:00

吉備国際大学 AMED 研究室 0866-22-9153
庶務課 0866-22-7404